

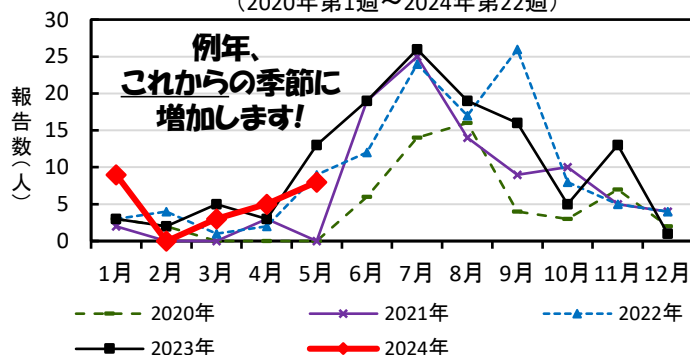
腸管出血性大腸菌感染症 に注意しましょう!



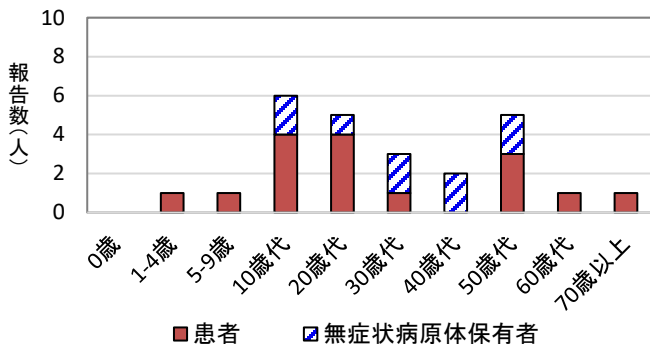
◆ 群馬県の流行状況

2024年は第22週までに25件の報告がありました。(昨年同時期: 27件)
例年、気温の高い初夏から秋にかけて多く報告されています。

腸管出血性大腸菌感染症 経年報告数
(2020年第1週~2024年第22週)



年齢群・診断別 報告数
(2024年第1週~第22週)



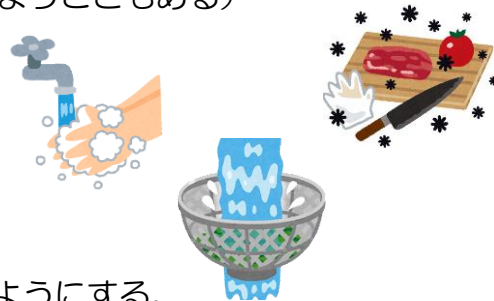
◆ どんな病気?

毒素を産生する腸管出血性大腸菌 (O157など) によって引き起こされる感染症です。少ない菌量でも感染し発症するため、家族や集団生活の中で感染が拡大することがあります。抵抗力の弱い**高齢者や乳幼児が感染すると、重症化することもあります。**

- 感染経路: 経口感染 (汚染された飲食物を口にしたり、患者の便を介してすることで感染。無症状者から他人へ感染させてしまうこともある)
- 潜伏期間: 多くは3~5日
- 症状: 下痢、腹痛、血便、発熱 (無症状の場合もある)

◆ 予防するには?

- 石けんと流水による**手洗い**を徹底する。
- 生野菜や果物**はよく洗って食べる。
- 箸やまな板などは、**生肉用と生肉以外用とで使い分ける**ようにする。
- 肉の生食は避け、中心が白くなるまで**十分に加熱調理 (75度で1分以上)**して食べる。
- 調理器具の**洗浄**と**熱湯や次亜塩素酸ナトリウム**を使用した**消毒**を行う。



◆ 感染を広げないために

- 下痢や腹痛などの**症状がある人は、速やかに医療機関を受診**する。
- 症状のある人は**家族と一緒に入浴せず、最後に入る**。シャワーやかけ湯がよいが浴槽に入る場合は石けんで体を洗ってから入り、入浴後は水を抜いて浴槽を洗う。また、バスタオルの共用は避ける。
- 症状のある人の下着は、**塩素系漂白剤でつけ置き消毒**し、家族のものとは分けて洗濯し、洗濯後は、ゴミ取りネットの掃除を忘れずに行う。
- トイレやおむつ交換のあとは必ず手を洗う。**



★ 腸管出血性大腸菌感染症についての詳しい情報: <https://www.pref.gunma.jp/page/3310.html>



*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp